2-891-217-05 (1)

Data Projector

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示してあります。**この説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

VPL-FE40/FE40L
VPL-FX40/FX40L
VPL-FX41/FX41L

この説明書は、再生紙と VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。
待機消費電力：0.5 W
キャビネットおよびプリント配線板にハロゲン系難燃剤を不使用
Printed on recycled paper using VOC (Volatile Organic Compound)-free vegetable oil based ink.
Standby power consumption: 0.5 W.
Halogenated flame retardants are not used in cabinets and printed wiring boards.

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口
フリーダイヤル················0120-333-020
携帯電話·PHS·一部のIP電話··· 0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル················0120-222-330
携帯電話·PHS·一部のIP電話··· 0466-31-2531
※取扱説明書·リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「203」＋「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通） 0120-333-389 **受付時間** 月～金：9:00～20:00 土·日·祝日：9:00～17:00

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

http://www.sony.net/
Sony Corporation Printed in Japan

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

注意事項をよくお読みください。

定期点検をする

5年に1度は、内部の点検を、使い方相談窓口にご相談ください（有料）。

故障したら使用を中止する

すぐに、使い方相談窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたりキャビネットを破損したときは

❶ 電源を切る。
❷ 電源コードや接続コードを抜く。
❸ 使い方相談窓口に連絡する。

警告表示の意味

この説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

注意を促す記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号

お客様へ

⚠警告 CD-ROMに収録された特約店様用設置説明書は、特約店様用に書かれたものです。

お客様が特約店様用設置説明書に記載された設置工事を行うと、事故などにより死亡や大けがにつながることがあります。お客様自身では、絶対に設置工事をしないでください。
設置については必ず使い方相談窓口にご相談ください。

⚠警告

火災　感電

下記の注意事項を守らないと、火災や感電により、死亡や大けがにつながることがあります。

電源コードを傷つけない

禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。
- 設置時に、製品と壁やラック（棚）などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、使い方相談窓口に交換をご相談ください。

付属の電源コードを使う

注意

付属の電源コードを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。

内部を開けない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理は使い方相談窓口にご相談ください。

レンズをのぞかない

禁止

投影中にプロジェクターのレンズをのぞくと光が目に入り、悪影響を与えることがあります。

内部に水や異物を入れない

禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、使い方相談窓口にご相談ください。

排気口、吸気口をふさがない

禁止

排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。また、手を近づけるとやけどをする場合があります。
風通しをよくするために次の項目をお守りください。
- 壁から30cm以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 布などで包まない。
- たてて使用しない。

JP

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

プロジェクターの上に水が入ったものを置かない

禁止

内部に水が入ると火災や感電の原因となります。

長時間の外出、旅行のときは、電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

レンズ交換後はレバーを必ずロックする

指示

半ロックの状態に放置すると、レンズ落下により事故の原因となります。

電源プラグおよびコネクターは突きあたるまで差し込む

指示

まっすぐに突きあたるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

安全アースを接続する

アース線を接続せよ

アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

床置き、または天井つり金具を使った天井つり以外の設置をしない

禁止

それ以外の設置をすると火災や大けがの原因となることがあります。

天井への取り付け、移動は絶対に自分でやらない

禁止

天井への取り付けは必ず使い方相談窓口にご相談ください(有料)。天井の強度不足、取り付け方法が不充分のときは落下する危険があります。
必ずソニー製のプロジェクターサスペンションサポートをご使用ください。特約店の方は取り付けを安全に行うために、必ず本書、CD-ROM内の特約店様用設置説明書およびプロジェクターサスペンションサポートの取付説明書の注意事項をお読みください。

熱感知器や煙感知器のそばに設置しない

禁止

熱感知器や煙感知器のそばに設置すると、排気の熱などにより、感知器が誤動作するなど、思わぬ事故の原因となることがあります。

アースキャップやコネクターカバーは幼児の手の届かないところへ保管する

注意

お子様が誤って飲むと、窒息死する恐れがあります。
万一誤って飲み込まれた場合は、ただちに医者に相談してください。
特に小さなお子様にはご注意ください。

指定された部品を使用する

指示

指定以外の部品を使用すると、火災や感電および故障や事故の原因となります。ランプ、電池、レンズ、フィルタは指定されたものを使用してください。指定以外の部品を使用する場合は、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。

⚠注意

下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

不安定な場所に設置しない

禁止

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置･取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

電源コード / 接続ケーブルに足をひっかけない

注意

電源コードや接続ケーブルに足をひっかけると、プロジェクターが倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

水のある場所に置かない

水ぬれ禁止

水が入ったり、濡れたり、風呂場などで使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用や、海岸、水辺でのご使用は特にご注意ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない。

禁止

火災や感電の原因となることがあります。

本機を立てて置かない

禁止

保管や、一時的に立てておくと倒れて思わぬ事故の原因になり危険です。

スプレー缶などの発火物や燃えやすいものを排気口やレンズの前に置かない。

禁止

火災の原因となることがあります。

投影中にレンズのすぐ前で光を遮らない

禁止

遮光した物に熱による変形などの影響を与えることがあります。

落雷のおそれがあるときは、電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因となります。

アジャスター調整時に指を挟まない

手を挟まれないよう注意

アジャスターの調整は慎重に行ってください。そうしないと、アジャスターに指を挟み、けがの原因となることがあります。

設置の際、本機と設置部分での指挟みに注意する

手を挟まれないよう注意

設置する際、本機と設置部分で指を挟まないように慎重に取り扱ってください。

レンズシフト調整時に指を挟まない

手を挟まれないよう注意

レンズシフトに指を挟まないように注意してください。けがの原因となることがあります。

排気口周辺には触れない

高温

排気口周辺はランプの熱で温度が高くなっています。手などを触れると火傷の原因となります。

定期的にエアーフィルターをクリーニングする

注意

ランプ交換に合わせて必ずエアーフィルターのクリーニングをしてください。
クリーニングを怠るとフィルターにごみがたまり、内部に熱がこもって火災の原因となることがあります。

定期的に内部の掃除を依頼する

注意

長い間掃除をしないと内部にほこりがたまり、火災や感電の原因となることがあります。5 年に 1 度は、内部の掃除を使い方相談窓口にご依頼ください（有料）。
特に、湿気の多くなる梅雨の前に掃除をすると、より効果的です。

運搬するときは必ず左右側面を両手で持つ

指示

運搬するときは、必ず左右側面を両手で持ってください。他の部分を持つとプロジェクターが壊れたり、落としてけがをすることがあります。
床置きのプロジェクターを移動させるとき、本体と設置面との間に指を挟まないようにご注意ください。

製品の上にものを載せない

禁止

製品の上にものを載せると、故障や事故の原因となります。

キャビネットのカバー類はしっかり固定する

指示

天吊りの場合、カバー類が固定されていないと落下して、けがの原因となることがあります。

⚠注意 電池についての安全上のご注意

ここでは、本機で使用可能な乾電池についての注意事項を記載しています。

万一、異常が起きたら

・電池の液が目に入ったら

↓

すぐにきれいな水で洗い、ただちに医師の治療を受ける。

・煙が出たら

↓

使い方相談窓口に連絡する。

・電池の液が皮膚や衣服に付いたら

↓

すぐにきれいな水で洗い流す。

・バッテリー収納部内で液が漏れたら

よくふき取ってから、新しい電池を入れる。

⚠警告

- 機器の表示に合わせて ⊕ と ⊖ を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、過熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多い場所で使用しない。
- 液漏れした電池を使わない。
- 電池を使い切ったときや、長時間使用しないときは本体から取り出す。

⚠注意

- 外装のチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の電池以外は使用しない。
- 火のそばや直射日光が当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。

⚠注意 ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には､内部圧力の高い水銀ランプを使用しています｡高圧水銀ランプには､つぎのような特性があります。

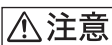
- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などにより大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりすることがある。
- 個体差や使用条件によって、寿命に大きなバラツキがある。指定の時間内であっても破裂、または不点灯状態になることがある。
- 交換時期を越えると、破裂の可能性が高くなる。
  「ランプを交換してください」というメッセージが表示されたときには、ランプが正常に点灯している場合でも速やかに新しいランプと交換してください。

⚠警告

下記の注意を守らないと、火災や感電により死亡や大けがにつながることがあります。

ランプ交換はランプが充分に冷えてから行う

電源を切った直後はランプが高温になっており､さわるとやけどの原因となることがあります｡ランプ交換の際は、**電源を切ってから1時間以上**たって､充分にランプが冷えてから行ってください。

⚠注意

下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

ランプが破裂したときはすぐに交換を依頼する

ランプが破裂した際には、プロジェクター内部やランプハウス内にガラス片が飛散している可能性があります。**使い方相談窓口にランプの交換と内部の点検を依頼**してください。また、排気口よりガスや粉じんが出たりすることがあります。ガスには水銀が含まれていますので、万が一吸い込んだり、目に入ったりした場合は、けがの原因となることがあります。

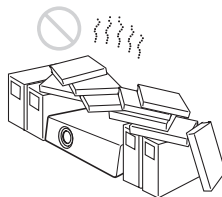
本機または使用済みランプを廃棄する場合

本機のランプの中には水銀が含まれています。
廃棄の際は、一般の廃棄物とは一緒にせず、地方自治体の条例または規則に従ってください。

設置・使用時のご注意

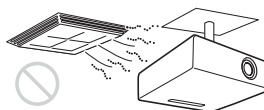
設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機の**故障や破損の原因**となります。

風通しが悪い場所

- 吸気口および排気口は、内部の温度上昇を防ぐためのものです。風通しの悪い場所を避け、通風口をふさがないように設置してください。
- 吸気口や排気口がふさがって、内部の温度が上昇すると、温度センサーが働き、「セット内部温度が高いです。1分後にLAMPオフします。」という警告メッセージが表示され、1分後に自動的に電源が切れます。
- 本機の周囲から30cm以内には物を置かないようにしてください。
- 吸気口には小さな紙などが吸い込まれやすいのでご注意ください。

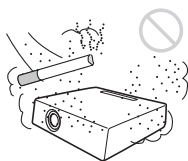
温度や湿度が高い場所

温度や湿度が非常に高い場所や温度が著しく低い場所での使用は避けてください。

空調の冷暖気が直接当たる場所

結露や異常温度上昇により、故障の原因となることがあります。

熱感知器や煙感知器のそば

感知器が誤動作する原因となることがあります。

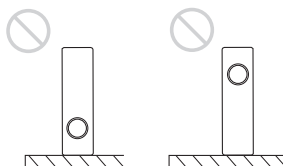
ほこりが多い場所、たばこなどの煙が入る場所

ほこりの多い場所、たばこなどの煙が入る場所での使用は避けてください。この様な場所で使用するとエアフィルターがつまりやすくなったり、故障や破損の原因となります。また、エアフィルターの汚れは内部の温度が上昇する原因になるので定期的に掃除してください。

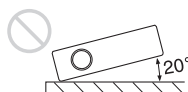
標高の高い場所で使用する場合

海抜 1500m 以上でのご使用に際しては、初期設定メニューの高地モードを「入」にしてください。そのままご使用になりますと、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。

使用に適さない状態

次のような状態では使用しないでください。

本機を立てて使用しない

プロジェクターを立ててお使いになることは避けてください。故障の原因となります。

本機を左右に傾けない

プロジェクターを 20 度以上傾けたり、床置きおよび天つり以外の設置でお使いになることは避けてください。色むらやランプの寿命を著しく損ねる原因となることがあります。

吸排気口を覆わない

吸排気口をふさぐような覆いやカバーをしたり、毛足の長いじゅうたんなどの上では使用しないでください。吸排気口がふさがれると、内部の温度が上昇します。

レンズの前に遮蔽物を置かない

投影中にレンズのすぐ前で光を遮らないでください。遮光した物に熱による変形など影響を与える可能性があります。投影を一時的に中断するときには、ピクチャーミューティング機能をお使いください。

使用上のご注意

液晶プロジェクターについて

液晶プロジェクターは非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現われたり、赤と青、緑の点が消えないことがあります。また、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合もあります。**これらは、液晶プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。**

スクリーンについて

表面に凹凸のあるスクリーンを使用すると、本機とスクリーン間の距離やズーム倍率によって、まれに画面上に縞模様が現れる場合があります。これは本機の故障ではありません。

結露について

プロジェクターの設置してある**室内の急激な温度変化は結露を引き起こし、故障の原因**となりますので冷暖房にご注意ください。
結露とは、寒いところから急に暖かい場所へ持ち込んだとき、本体の内部に水滴がつくことです。**結露が起きたときは、電源を入れたまま本機をそのまま約2時間放置**しておいてください。

ファンの音について

プロジェクターの内部には温度上昇を防ぐためにファンが取り付けられており、電源を入れると多少音を生じます。これらは、液晶プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。しかし、異常音が発生した場合にはお買い上げ店にご相談ください。

部屋の照明について

直射日光や室内灯などで直接スクリーンを照らさないでください。美しく見やすい画像にするために、以下の点を参考にしてください。

- 集光形のダウンライトにする。
- 蛍光灯のような散光照明にはメッシュを使用する。
- 太陽の差し込む窓はカーテンやブラインドでさえぎる。
- 光を反射する床や壁はカーペットや壁紙でおおう。

お手入れについて

- キャビネットやパネルの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには、水でうすめた中性洗剤に柔らかい布をひたし、固くしぼってから汚れをふき取り、乾いた布で仕上げてください。なお、お手入れの際は必ず電源コードをコンセントから抜いてください。
- レンズに手を触れたり、固いもので傷をつけたりしないようにご注意ください。
- 必ず定期的にフィルターのクリーニングをしてください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本機は「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

警告

設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に、容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。
万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

注意

ネットワークコネクターの接続について
安全のために、周辺機器を接続する際は、過大電圧を持つ可能性があるコネクターをこの端子に接続しないでください。
接続については本書の指示に従ってください。

重要

機器の名称と電気定格は、底面に表示されています。

注意

アースの接続は、必ず電源プラグを電源コンセントへ接続する前に行ってください。
アースの接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

注意

日本国内で使用する電源コードセットは、電気用品安全法で定める基準を満足した承認品が要求されます。
ソニー推奨の電源コードセットをご使用下さい。

注意

指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。
必ず指定の電池に交換してください。
使用済みの電池は、国または地域の法令に従って処理してください。

特約店様へ

設置を安全に行うために、この「安全のために」に記載されたすべての項目（お客様用を含む）とCD-ROMの内容をよくお読みください。

下記の注意を守らないと、火災や感電により死亡や大けがにつながることがあります。

通風孔をふさぐような場所に設置しない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり､火災や故障の原因となることがあります｡風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 壁から30cm以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- 布などで包まない。

天井への取り付けには細心の注意をはらう

注意

- 天井への取り付け強度が不充分だと、落下により死亡や大けがにつながることがあります。
  必ずソニー製のプロジェクターサスペンションサポートPSS-610を使用してください。
- 取り付けを安全に行うために、本書、CD-ROM内の特約店様用設置説明書、取扱説明書およびPSS-610の取付説明書の注意事項をお読みください。
- 取り付けは、PSS-610の取付説明書の手順に従い確実に行ってください。取り付けが不完全な場合、落下する可能性があります。
  また、取り付け時には手をすべらせてプロジェクターを落下させ、けがをすることのないようご注意ください。

熱感知器や煙感知器のそばに設置しない

熱感知器や煙感知器のそばに設置すると､排気の熱などにより､感知器が誤動作するなど､思わぬ事故の原因となることがあります。

ランプ交換はランプが充分に冷えてから行う

電源を切った直後はランプが高温になっており､さわるとやけどの原因となることがあります｡ランプ交換の際は､**電源を切ってから1時間以上**たって､充分にランプが冷えてから行ってください。

調整用工具を内部に入れない

調整中などに､工具を誤って内部に落とすと火災や感電の原因となることがあります。
万一､落とした場合は､すぐに電源を切り､電源コードを抜いてください。

指定された部品を使用する

指定以外の部品を使用すると､火災や感電および故障や事故の原因となります｡ランプ､電池､天吊り金具､レンズ､フィルタは指定されたものを使用してください｡指定以外の部品を使用する場合は､ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。

容量の低い電源延長コードを使用しない

容量の低い延長コードを使うと、ショートしたり火災や感電の原因となることがあります。

安全アースを接続する

安全アースを接続しないと､感電の原因となることがあります｡プラグから出ている緑色のアースを､建物に備えられているアース端子に接続してください。

天吊り状態でレンズを交換しない

天吊り状態で作業すると､レンズを取り落としたりして､けがや事故の原因となります。

レンズ交換後はレバーを必ずロックする

半ロックの状態に放置すると､レンズ落下により事故の原因となります。

付属の電源コードを使う

付属の電源コードを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。

レンズをのぞかない

投影中にプロジェクターのレンズをのぞくと光が目に入り、悪影響を与えることがあります。

電源プラグおよびコネクターは突きあたるまで差し込む

まっすぐに突きあたるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

⚠注意　下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

運搬・移動は慎重に

- 床置きのプロジェクターを移動させるとき、本体と設置面との間に指を挟まないようにご注意ください。
- キャビネットのカバーを開けたまま、電源を切らずに移動させないでください。感電の原因となることがあります。

アジャスター調整時、手を挟まないよう注意する

アジャスターを回しすぎるとアジャスターがはずれ、手を挟むことがありますのでご注意ください。

運搬するときは必ず左右側面を両手で持つ

運搬するときは、必ず左右側面を両手で持ってください。他の部分を持つとプロジェクターが壊れたり、落としてけがをすることがあります。

本機を立てて置かない

保管や一時的に立てておくと倒れて思わ事故の原因になり危険です。

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置･取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

コード類は正しく配置する

電源コードや接続コードを足に引っかけると転倒したり、プロジェクターの落下によりけがの原因となることがあります。充分注意して接続･配置してください。

低い天井に天吊りしない

頭などをぶつけてけがをすることがあります。

キャビネットのカバー類はしっかり固定する

天吊りの場合、カバー類が固定されていないと落下して、けがの原因となることがあります。

製品の上にものを載せない

製品の上にものを載せると、故障や事故の原因となります。

水のある場所に置かない

水が入ったり、濡れたり、風呂場などで使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用や、海岸、水辺でのご使用は特にご注意ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない。

火災や感電の原因となることがあります。

レンズシフト調整時に指を挟まない

レンズシフトに指を挟まないように注意してください。けがの原因となることがあります。

不明な点はお買い上げ店または使い方相談窓口にご相談ください。

設置場所について

- 底面の吸気口および後面の排気口は、内部の温度上昇を防ぐためのものです。風通しの悪い場所を避け、吸気口および排気口をふさがないように設置してください。
- 温度・湿度が非常に高い場所や温度が著しく低い場所、ほこりの多い場所での使用は避けてください。
- 床置きおよび天井つり以外の設置でお使いになると、色むらやランプ寿命の劣化などの問題が起こることがありますので避けてください。

注意

投射角度を± 20°より大きくする場合の設置について

投射角度を± 20°より大きくする場合は、排気口の真下、30cm 以上 50cm 以内の距離に、60cm × 30cm 以上の金属製の受け皿を設置してください。また、上から排気口の開口部に異物や水滴が入らないように注意してください。

WARNING

To reduce the risk of fire or electric shock, do not expose this apparatus to rain or moisture.

To avoid electrical shock, do not open the cabinet. Refer servicing to qualified personnel only.

WARNING

THIS APPARATUS MUST BE EARTHED.

WARNING

When installing the unit, incorporate a readily accessible disconnect device in the fixed wiring, or connect the power cord to socket-outlet which must be provided near the unit and easily accessible.
If a fault should occur during operation of the unit, operate the disconnect device to switch the power supply off, or disconnect the power cord.

WARNING: THIS WARNING IS APPLICABLE FOR USA ONLY.
If used in USA, use the UL LISTED power cord specified below.
DO NOT USE ANY OTHER POWER CORD.

Plug Cap	Parallel blade with ground pin (NEMA 5-15P Configuration)
Cord	Type SJT, three **16 or 18 AWG wires**
Length	Minimum 1.5 m (4 ft .11in.), Less than 2.5 m (8 ft .3 in.)
Rating	Minimum **10 A, 125 V**

Using this unit at a voltage other than 120V may require the use of a different line cord or attachment plug, or both.
To reduce the risk of fire or electric shock, refer servicing to qualified service personnel.

WARNING: THIS WARNING IS APPLICABLE FOR OTHER COUNTRIES.

1. Use the approved Power Cord (3-core mains lead) / Appliance Connector / Plug with earthing-contacts that conforms to the safety regulations of each country if applicable.
2. Use the Power Cord (3-core mains lead) / Appliance Connector / Plug conforming to the proper ratings (Voltage, Ampere).

If you have questions on the use of the above Power Cord / Appliance Connector / Plug, please consult a qualified service personnel.

CAUTION

For safety, do not connect the connector for peripheral device wiring that might have excessive voltage to this port.
Follow the instructions for this port.

IMPORTANT

The nameplate is located on the bottom.

For kundene i Norge

Dette utstyret kan kobles til et IT-strømfordelingssystem.

For the customers in the USA

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

All interface cables used to connect peripherals must be shielded in order to comply with the limits for a digital device

pursuant to Subpart B of Part 15 of FCC Rules.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

For the State of California, USA only

Perchlorate Material - special handling may apply, See
www.dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorate
Perchlorate Material: Lithium battery contains perchlorate.

For the customers in Canada

This Class A digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

For the customers in Europe, Australia and New Zealand

WARNING

This is a Class A product. In a domestic environment, this
product may cause radio interference in which case the user
may be required to take adequate measures.

For the customers in Europe

The manufacturer of this product is Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, Japan.
The Authorized Representative for EMC and product safety is Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Germany. For any service or guarantee matters please refer to the addresses given in separate service or guarantee documents.

This apparatus shall not be used in the residential area.

For safety

Be sure to attach the air filter to the unit.

For the customers in Taiwan only

廢電池請回收

Caution

Installation when setting the angle of projection to more than ±20°
When you set the angle of projection to more than ±20°, place a metal tray measuring more than 60 cm × 30 cm at a distance of 30 cm to 50 cm directly below the exhaust vent. Also, take care that no material or water drops fall into the opening of the exhaust vent.

CAUTION

Danger of explosion if battery is incorrectly replaced.
Replace only with the same or equivalent type recommended by the manufacturer.
When you dispose of the battery, you must obey the law in the relative area or country.

Precautions

Warning

The Installation Manual contained in the CD-ROM is for dealers.
If customers perform the installation described in this manual, an accident may occur, causing serious injury. Never install it by yourself. For installation, be sure to consult with a Sony dealer.

On safety

- Check that the operating voltage of your unit is identical with the voltage of your local power supply. If voltage adaptation is required, consult with qualified Sony personnel.
- Should any liquid or solid object fall into the cabinet, unplug the unit and have it checked by qualified Sony personnel before operating it further.
- Unplug the unit from the wall outlet if it is not to be used for several days.
- To disconnect the cord, pull it out by the plug. Never pull the cord itself.
- The wall outlet should be near the unit and easily accessible.
- The unit is not disconnected from the AC power source (mains) as long as it is connected to the wall outlet, even if the unit itself has been turned off.
- Do not look into the lens while the lamp is on.
- Do not place your hand or objects near the ventilation holes — the air coming out is hot.
- Be careful not to catch your fingers by the adjuster when you adjust the height of the unit. Do not push hard on the top of the unit with the adjuster out.
- Be sure to grasp both sides of the unit with both hands when carring the unit.

On illumination

- To obtain the best picture, the front of the screen should not be exposed to direct lighting or sunlight.
- Ceiling-mounted spot lighting is recommended. Use a cover over fluorescent lamps to avoid lowering the contrast ratio.
- Cover any windows that face the screen with opaque draperies.
- It is desirable to install the unit in a room where floor and walls are not of light-reflecting material. If the floor and walls are of reflecting material, it is recommended that the carpet and wall paper be changed to a dark color.

On preventing internal heat build-up

The unit is equipped with ventilation holes (intake) at the bottom and ventilation holes (exhaust) at the rear. Do not block or place anything near these holes, or internal heat build-up may occur, causing picture degradation or damage to the unit.

On cleaning

- To keep the cabinet looking new, periodically clean it with a soft cloth. Stubborn stains may be removed with a cloth lightly dampened with a mild detergent solution. Never use strong solvents, such as thinner, benzene, or abrasive cleansers, since these will damage the cabinet.
- Avoid touching the lens. To remove dust on the lens, use a soft dry cloth. Do not use a damp cloth, detergent solution, or thinner.
- Clean the filter at regular intervals.

On repacking

- Save the original shipping carton and packing material; they will come in handy if you ever have to ship your unit. For maximum protection, repack your unit as it was originally packed at the factory.

On LCD projector

- The LCD projector is manufactured using high-precision technology. You may, however, see tiny black points and/or bright points (red, blue, or green) that continuously appear on the LCD projector. This is a normal result of the manufacturing process and does not indicate a malfunction.

For dealers

Please read throughly this Safety Regulations and Installation Manual for Dealers contained in the CD-ROM for safe installation.

On safety

- Avoid using an extension cord with a low voltage limited since it may cause the short-circuit and physical incidents.
- Do not catch your finger between the unit and surface of the floor when moving the projector installed on the floor.
- Be careful not to catch your finger in the cooling fan.
- Do not carry the projector with the cabinet on and with its cover open.

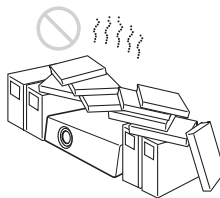
On installation

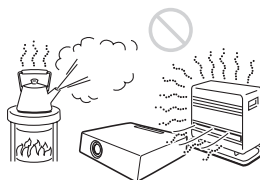
- When the projector is mounted on the ceiling, the Sony PSS-610 Projector Suspension Support must be used for installation.
- Allow adequate air circulation to prevent internal heat build-up. Do not place the unit on surfaces (rugs, blankets, etc.) or near materials (curtains, draperies) that may block the ventilation holes. Leave space of more than 30 cm (11 7/8 inches) between the wall and the projector. Be aware that room heat rises to the ceiling; check that the temperature near the installation location is not excessive.
- Install the projector on the floor or ceiling. Any other installation causes a mulfunction such as color irregularity or shortening lamp life.
- Do not install the unit in a location near heat sources such as radiators or air ducts, or in a place subject to direct sunlight, excessive dust or humidity, mechanical vibration or shock.
- To avoid moisture condensation, do not install the unit in a location where the temperature may rise rapidly.
- Be sure to secure the cabinet cover firmly when installing to the ceiling firmly.

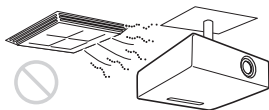
Notes on Installation and Usage

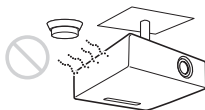
Unsuitable Installation

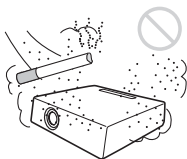
Do not install the unit in the following situations. **These installations may cause malfunction or damage** to the unit.

Poorly ventilated

- Allow adequate air circulation to prevent internal heat build-up. Do not place the unit on surfaces (rugs, blankets, etc.) or near materials (curtains, draperies) that may block the ventilation holes.
- When the internal heat builds up due to the block-up, the temperature sensor will function with the message “High temp.! Lamp off in 1 min.” The power will be turned off automatically after one minute.
- Leave space of more than 30 cm (11 7/8 inches) around the unit.
- Be careful that the ventilation holes may inhale tininess such as a piece of paper.

Highly heated and humid

- Avoid installing the unit in a location where the temperature or humidity is very high, or temperature is very low.
- To avoid moisture condensation, do not install the unit in a location where the temperature may rise rapidly.

Subject to direct cool or warm air from an air-conditioner

Installing in such a location may cause malfunction of the unit due to moisture condensation or rise in temperature.

Near a heat or smoke sensor

Malfunction of the sensor may be caused.

Very dusty, extremely smoky

Avoid installing the unit in a very dusty or extremely smoky environment. Otherwise, the air filter will become obstructed, and this may cause a malfunction of the unit or damage it. Dust preventing the air passing through the filter may cause a rise in the internal temperature of the unit. Clean the filter periodically.

Usage in High Altitude

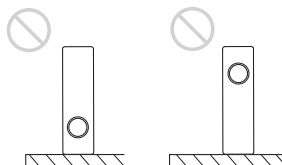
When using the unit at an altitude of 1,500 m or higher, set the "High Altitude mode" to "On" in the Setup menu. Failing to set this mode when using the unit at high altitudes could have adverse effects, such as reducing the reliability of certain components.

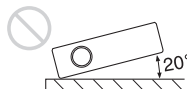
Note on the screen

When using a screen with an uneven surface, stripes pattern may rarely appear on the screen depending on the distance between the screen and the unit or the zooming magnifications. This is not a malfunction of the unit.

Unsuitable Conditions

Do not use the unit under the following conditions.

Do not topple the unit

Avoid using as the unit topples over on its side. It may cause malfunction.

Do not tilt right/left

Avoid using as the unit tilts more than 20 degrees. Do not install the unit other than on the floor or ceiling. These installations may cause malfunction.

Do not block the ventilation holes

Avoid using something to cover over the ventilation holes (exhaust/intake); otherwise, the internal heat may build up.

Do not place a blocking object just in front of the lens

Do not place any object just in front of the lens that may block the light during projection. Heat from the light may damage the object. Use the PIC MUTING key on the Remote Commander to cut off the picture.

AVERTISSEMENT

Afin de réduire les risques d'incendie ou d'électrocution, ne pas exposer cet appareil à la pluie ou à l'humidité.

Afin d'écarter tout risque d'électrocution, garder le coffret fermé. Ne confier l'entretien de l'appareil qu'à un personnel qualifié.

AVERTISSEMENT

CET APPAREIL DOIT ÊTRE RELIÉ À LA TERRE.

AVERTISSEMENT

Lors de l'installation de l'appareil, incorporer un dispositif de coupure dans le câblage fixe ou brancher la fiche d'alimentation dans une prise murale facilement accessible proche de l'appareil. En cas de problème lors du fonctionnement de l'appareil, enclencher le dispositif de coupure d'alimentation ou débrancher la fiche d'alimentation.

ATTENTION

Par mesure de sécurité, ne raccordez pas le connecteur pour le câblage de périphériques pouvant avoir une tension excessive à ce port. Suivez les instructions pour ce port.

IMPORTANT

La plaque signalétique se situe sous l'appareil.

AVERTISSEMENT

1. Utilisez un cordon d'alimentation (câble secteur à 3 fils)/fiche femelle/fiche mâle avec des contacts de mise à la terre conformes à la réglementation de sécurité locale applicable.
2. Utilisez un cordon d'alimentation (câble secteur à 3 fils)/fiche femelle/fiche mâle avec des caractéristiques nominales (tension, ampérage) appropriées.

Pour toute question sur l'utilisation du cordon d'alimentation/fiche femelle/fiche mâle ci-dessus, consultez un technicien du service après-vente qualifié.

Pour les utilisateurs au Canada

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

Pour les utilisateurs en Europe, Australie et Nouvelle-Zélande

AVERTISSEMENT

Il s'agit d'un produit de Classe A. Dans un environnement domestique, cet appareil peut provoquer des interférences radio, dans ce cas l'utilisateur peut être amené à prendre des mesures appropriées.

Pour les clients en Europe

Le fabricant de ce produit est Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, Japon.
Le représentant autorisé pour EMC et la sécurité des produits est Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Allemagne. Pour toute question concernant le service ou la garantie, veuillez consulter les adresses indiquées dans les documents de service ou de garantie séparés.

Ne pas utiliser cet appareil dans une zone résidentielle.

Par mesure de sécurité

Vous devez fixer le filtre à air sur l'appareil.

Attention

Installation lorsque vous réglez un angle de projection supérieur à ±20°
Lorsque l'angle de projection est supérieur à ±20°, placez un plateau métallique mesurant plus de 60 cm × 30 cm à une distance allant de 30 cm à 50 cm directement sous l'orifice de ventilation. En outre, veillez à ce qu'aucune substance ou goutte d'eau ne tombe dans l'ouverture de l'orifice de ventilation.

ATTENTION

Il y a danger d'explosion s'il y a remplacement incorrect de la batterie.
Remplacer uniquement avec une batterie du même type ou d'un type équivalent recommandé par le constructeur.
Lorsque vous mettez la batterie au rebut, vous devez respecter la législation en vigueur dans le pays ou la région où vous vous trouvez.

Précautions

Avertissement

Le Manuel d'installation que contient le CD-ROM est pour les revendeurs.
Il y a risque d'accident et de grave blessure si le client tente d'effectuer lui-même l'installation décrite dans ce manuel. Vous ne devez pas effectuer l'installation vous-même. Pour l'installation, informez-vous auprès d'un revendeur Sony.

Sécurité

- S'assurer que la tension de service de votre projecteur est identique à la tension locale. Si un adaptateur de tension est nécessaire, informez-vous auprès d'un technicien Sony agréé.
- Si du liquide ou un objet solide pénètre dans le coffret, débranchez l'appareil et faites-le vérifier par un technicien Sony agréé avant de poursuivre l'utilisation.
- Débrancher le projecteur de la prise murale en cas de non-utilisation pendant plusieurs jours.
- Pour débrancher le cordon, le tirer par la fiche. Ne jamais tirer sur le cordon lui-même.
- La prise murale doit se trouver à proximité du projecteur et être facile d'accès.
- L'appareil demeure connecté à la source d'alimentation secteur tant qu'il est branché sur la prise murale, et ce même si l'appareil est éteint.
- Ne pas regarder dans l'objectif lorsque la lampe est allumée.
- Ne pas mettre la main et ne poser aucun objet près des orifices de ventilation ; l'air qui s'en échappe est très chaud.
- Prendre garde de vous coincer les doigts dans le dispositif de réglage lorsque vous réglez la hauteur de l'appareil. Ne pas exercer une pression forte sur le dessus de l'appareil alors que le dispositif de réglage est sorti.
- Pour transporter l'appareil, vous devez le saisir à deux mains, par les deux côtés.

Éclairage

- Pour une qualité d'image optimale, la face avant de l'écran ne doit pas être directement exposée à une source d'éclairage ou au rayonnement solaire.
- Nous préconisons un éclairage au moyen de spots fixés au plafond. Masquez les lampes fluorescentes pour éviter une altération du niveau de contraste.
- Occultez les fenêtres qui font face à l'écran au moyen de rideaux opaques.
- Il est préférable d'installer le projecteur dans une pièce où le sol et les murs ne sont pas revêtus d'un matériau réfléchissant la lumière. Si le sol et les murs réfléchissent la lumière, nous vous recommandons de remplacer le revêtement de sol et mural par un de couleur sombre.

Prévenir l'accumulation de chaleur interne

L'appareil est équipé d'orifices de ventilation sur sa face inférieure (entrée d'air) et à l'arrière (sortie d'air). Évitez de bloquer ces orifices ou de placer quoi que ce soit à proximité, autrement la chaleur risque de s'accumuler à l'intérieur de l'appareil, causant une dégradation de l'image ou endommageant l'appareil.

Nettoyage

- Pour conserver au boîtier l'éclat du neuf, nettoyez-le régulièrement au moyen d'un chiffon doux. Pour éliminer les taches récalcitrantes, employez un chiffon légèrement imprégné d'une solution détergente neutre. N'utilisez en aucun cas des solvants puissants tels que diluant, benzène ou des agents nettoyants abrasifs car ceci pourrait endommager le boîtier.
- Ne touchez pas l'objectif. Pour dépoussiérer l'objectif, employez un chiffon doux et sec. N'utilisez pas de chiffon humide, de solution détergente ni de diluant.
- Nettoyez le filtre à intervalles réguliers.

Remballage

- Conserver le carton d'emballage original et le matériel d'emballage ; ils seront très utiles si l'on doit un jour expédier l'appareil. Pour assurer une protection maximale, remballer l'appareil tel qu'il avait été emballé en usine.

Projecteur LCD

- Le projecteur LCD est fabriqué au moyen d'une technologie de haute précision. Il se peut toutefois que vous constatiez que de petits points noirs et/ou lumineux (rouges, bleus ou verts) apparaissent continuellement sur le projecteur LCD. Ceci est un résultat normal du processus de fabrication et n'est pas le signe d'un dysfonctionnement.

Pour les revendeurs

Pour une installation sûre, veuillez lire entièrement ces Règlements de sécurité et le Manuel d'installation pour les revendeurs compris dans le CD-ROM.

Sécurité

- Éviter d'utiliser un cordon prolongateur à faible tension limitée, car cela peut causer un court-circuit et provoquer des blessures.
- Prendre garde de se coincer les doigts entre l'appareil et la surface du plancher lors du déplacement du projecteur installé sur le plancher.
- Prendre garde de se coincer les doigts dans le ventilateur de refroidissement.
- Ne pas transporter le projecteur sans d'abord retirer son boîtier, ou avec le couvercle ouvert.

Installation

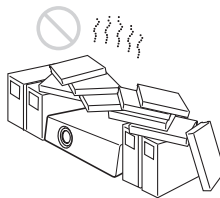
- Lors de l'installation du projecteur au plafond, utilisez le support de suspension de projecteur PSS-610 de Sony.
- Assurez une circulation d'air adéquate afin d'éviter toute surchauffe interne. Ne placez pas le projecteur sur des surfaces textiles (tapis, couvertures, etc.) ni à proximité de rideaux ou de draperies susceptibles d'obstruer les orifices de ventilation. Laissez un espace minimum de 30 cm (11 7/8 pouces) entre le projecteur et le mur. Notez que la chaleur de la pièce monte au plafond ; assurez-vous que la température n'est pas trop élevée à proximité de l'emplacement d'installation.

- Installez le projecteur sur le plancher ou au plafond. Toute autre installation causera un dysfonctionnement, comme par exemple des couleurs irrégulières ou une réduction de la durée de service de la lampe.
- N'installez pas l'appareil dans un emplacement situé près de sources de chaleur telles que radiateurs ou conduits d'air, ni dans un emplacement exposé directement à la lumière du soleil, trop poussiéreux ou humide, ou soumis à des vibrations mécaniques ou à des chocs.
- Pour éviter la condensation d'humidité, n'installez pas le projecteur dans un endroit où la température est susceptible d'augmenter rapidement.
- Assurez-vous que le couvercle du boîtier est bien fermé avant d'installer fermement l'appareil au plafond.

Remarques sur l'installation et l'utilisation

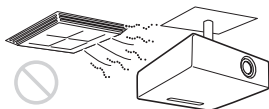
Installation déconseillée

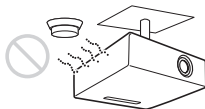
N'installez pas l'appareil dans les conditions suivantes. **Ces installations peuvent causer un dysfonctionnement de l'appareil ou l'endommager**.

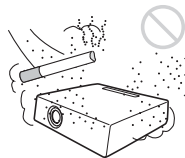
Mauvaise ventilation

- Assurez une circulation d'air adéquate afin d'éviter toute surchauffe interne. Ne placez pas le projecteur sur des surfaces textiles (tapis, couvertures, etc.) ni à proximité de rideaux ou de draperies susceptibles d'obstruer les orifices de ventilation.
- Lorsque la chaleur s'accumule à l'intérieur de l'appareil en raison du blocage des orifices de ventilation, le capteur de température s'active et le message « Surchauffe! Lampe OFF 1 min. » s'affiche. L'appareil se mettra automatiquement hors tension au bout d'une minute.
- Laissez un dégagement de plus de 30 cm (11 7/8 pouces) autour de l'appareil.
- Prenez garde que des petits objets, tels que des bouts de papier, ne soient aspirés par les orifices de ventilation.

Très chaud et humide

- N'installez pas le projecteur dans un endroit très chaud, très humide ou très froid.
- Pour éviter la condensation d'humidité, n'installez pas le projecteur dans un endroit où la température est susceptible d'augmenter rapidement.

Exposé directement au flux d'air froid ou chaud d'un climatiseur

L'installation dans un tel emplacement peut causer un dysfonctionnement de l'appareil à cause de la condensation de l'humidité ou d'une hausse de température.

Proximité d'un capteur de chaleur ou de fumée

Cela peut causer un dysfonctionnement du capteur.

Très poussiéreux ou extrêmement enfumé

N'installez pas le projecteur dans un environnement très poussiéreux ou enfumé. Le filtre à air pourrait se colmater avec, pour résultat, un dysfonctionnement ou des dommages du projecteur. La poussière colmatée ferait obstacle au passage de l'air à travers le filtre et il en résulterait une surchauffe interne du projecteur. Nettoyez périodiquement le filtre.

Utilisation à haute altitude

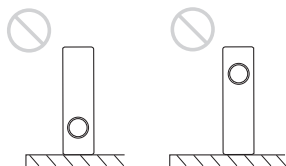
Si l'appareil est utilisé à une altitude de 1500 m ou plus, réglez l'option « Mode haute altit. » sur « On » dans le menu Réglage. Si ce réglage du mode n'est pas effectué alors que l'on utilise l'appareil à haute altitude, des effets négatifs peuvent s'ensuivre, tels qu'une baisse de fiabilité de certains composants.

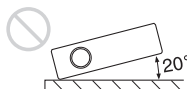
Remarque sur l'écran

Si un écran à surface inégale est utilisé, il se peut, dans de rares cas, que des motifs de lignes apparaissent sur l'écran suivant la distance qui sépare l'écran de l'appareil ou suivant le taux de grossissement du zoom. Il ne s'agit pas d'un dysfonctionnement de l'appareil.

Conditions déconseillées

N’utilisez pas l’appareil dans les conditions suivantes.

Ne pas basculer l’appareil

Évitez d’utiliser l’appareil en le faisant basculer sur le côté. Ceci pourrait provoquer un dysfonctionnement.

Ne pas incliner vers la droite/ gauche

Évitez d’utiliser l’appareil en l’inclinant de plus de 20 degrés. N’installez pas l’appareil ailleurs que sur le plancher ou au plafond. Tout autre type d’installation peut causer un dysfonctionnement.

Ne pas bloquer les orifices de ventilation

Évitez de recouvrir d’objets les orifices de ventilation (sortie/entrée), autrement la chaleur risque de s’accumuler à l’intérieur de l’appareil.

Ne placer aucun objet pouvait faire obstacle juste devant l’objectif

Ne placez aucun objet juste devant l’objectif qui pourrait bloquer la lumière durant la projection. La chaleur provenant de la lumière risque d’endommager l’objet. Utilisez la touche PIC MUTING de la télécommande pour couper l’image.

ADVERTENCIA

Para reducir el riesgo de electrocución, no exponga este aparato a la lluvia ni a la humedad.

Para evitar descargas eléctricas, no abra el aparato. Solicite asistencia técnica únicamente a personal especializado.

ADVERTENCIA

ESTE APARATO DEBE CONECTARSE A TIERRA.

ADVERTENCIA

Al instalar la unidad, incluya un dispositivo de desconexión fácilmente accesible en el cableado fijo, o conecte la clavija de alimentación a una toma de corriente fácilmente accesible cerca de la unidad. Si se produce una anomalía durante el funcionamiento de la unidad, accione el dispositivo de desconexión para desactivar la alimentación o desconecte las clavijas de alimentación.

PRECAUCIÓN

Por razones de seguridad, no enchufe a este puerto un conector de cableado de dispositivo periférico que pueda tener una tensión excesiva. Siga las instrucciones de este puerto de conexión.

IMPORTANTE

La placa de características está situada en la parte inferior.

ADVERTENCIA

1. Utilice un cable de alimentación (cable de alimentación de 3 hilos)/conector/enchufe del aparato recomendado con toma de tierra y que cumpla con la normativa de seguridad de cada país, si procede.
2. Utilice un cable de alimentación (cable de alimentación de 3 hilos)/conector/enchufe del aparato que cumpla con los valores nominales correspondientes en cuanto a tensión e intensidad.

Si tiene alguna duda sobre el uso del cable de alimentación/conector/enchufe del aparato, consulte a un técnico de servicio cualificado.

Para los clientes de Europa, Australia y Nueva Zelanda

ADVERTENCIA

Éste es un producto de clase A. En un ambiente doméstico, este producto puede causar interferencias radioeléctricas, en cuyo caso el usuario puede tener que tomar las medidas adecuadas.

Para los clientes de Europa

El fabricante de este producto es Sony Corporation, con dirección en 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokio, Japón.
El Representante autorizado para EMC y seguridad del producto es Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Alemania. Para asuntos relacionados con el servicio y la garantía, consulte las direcciones entregadas por separado para los documentos de servicio o garantía.

Este dispositivo no debe utilizarse en zonas residenciales.

Por razones de seguridad

No olvide sujetar el filtro de aire a la unidad.

Precaución

Instalación cuando el ajuste del ángulo de proyección es superior a ±20°
Cuando ajuste el ángulo de proyección a más de ±20°, coloque una bandeja metálica de más de 60 × 30 cm a una distancia de 30 a 50 cm directamente bajo el orificio de salida de aire. Asimismo, procure que no se introduzca ningún material ni líquido por el orificio de salida de aire.

PRECAUCIÓN

Peligro de explosión si se sustituye la batería por una del tipo incorrecto. Reemplace la batería solamente por otra del mismo tipo o de un tipo equivalente recomendado por el fabricante.
Cuando deseche la batería, debe cumplir con las leyes de la zona o del país.

Precauciones

Aviso

El manual de instalación contenido en el CD-ROM es para los distribuidores.
Si un cliente realiza la instalación descrita en el manual puede producirse un accidente que provoque lesiones graves. No la instale nunca usted mismo. Para la instalación, consulte con un distribuidor de Sony.

Seguridad

- Compruebe que la tensión de funcionamiento de la unidad sea la misma que la del suministro eléctrico local. Si es necesario adaptar la tensión, consulte con personal especializado de Sony.
- Si se introduce algún objeto sólido o líquido en la unidad, desenchúfela y haga que sea revisada por personal especializado de Sony antes de volver a utilizarla.
- Desenchufe la unidad de la toma mural cuando no vaya a utilizarla durante varios días.
- Para desconectar el cable, tire del enchufe. Nunca tire del propio cable.
- La toma mural debe encontrarse cerca de la unidad y ser de fácil acceso.
- La unidad no estará desconectada de la fuente de alimentación de ca mientras esté conectada a la toma mural, aunque haya apagado la unidad.
- No mire al objetivo mientras la lámpara esté encendida.
- No coloque la mano ni ningún objeto cerca de los orificios de ventilación. El aire que sale está caliente.
- Tenga cuidado de no pillarse los dedos con el ajustador cuando ajuste la altura de la unidad. No ejerza una presión excesiva sobre la parte superior de la unidad cuando el ajustador esté fuera.
- Asegúrese de agarrar ambos lados de la unidad con ambas manos cuando transporte la unidad.

Iluminación

- Con el fin de obtener imágenes con la mejor calidad posible, la parte frontal de la pantalla no debe estar expuesta a la luz solar ni a iluminaciones directas.
- Se recomienda utilizar illuminación puntual desde el techo. Cubra las lámparas fluorescentes para evitar que se produzca una disminución en la relación de contraste.
- Cubra con tela opaca las ventanas que estén orientadas hacia la pantalla.
- Es recomendable instalar la unidad en una sala cuyo suelo y paredes estén hechos con materiales que no reflejen la luz. Si el suelo y las paredes están hechos de dicho tipo de material, se recomienda cambiar el color de éstos por uno oscuro.

Prevención del calentamiento interno

La unidad está equipada con orificios de ventilación de aspiración en la parte inferior y de escape en la parte trasera. No bloquee dichos orificios ni coloque nada cerca de ellos, ya que si lo hace puede producirse un recalentamiento interno, causando el deterioro de la imagen o daños a la unidad.

Limpieza

- Para mantener el exterior de la unidad como nuevo, límpielo periódicamente con un paño suave. Las manchas persistentes pueden eliminarse con un paño ligeramente humedecido en una solución detergente suave. No utilice nunca disolventes concentrados, como diluyente, bencina o limpiadores abrasivos, ya que dañarán el exterior.
- Evite tocar el objetivo. Utilice un paño seco y suave para eliminar el polvo del objetivo. No utilice un paño húmedo, soluciones detergentes ni diluyentes.
- Limpie el filtro con regularidad.

Embalaje

- Guarde la caja y los materiales de embalaje originales, ya que resultarán útiles cuando tenga que embalar la unidad. Para obtener una máxima protección, vuelva a embalar la unidad como se embaló originalmente en fábrica.

Proyector LCD

- El proyector LCD está fabricado con tecnología de alta precisión. No obstante, es posible que se observen pequeños puntos negros o brillantes (rojos, azules o verdes), o ambos, de forma continua en el proyector. Se trata de un resultado normal del proceso de fabricación y no indica fallo de funcionamiento.

Para los distribuidores

Rogamos lea con cuidado la normativa de seguridad y el manual de instalación para proveedores que se encuentran en el CD-ROM para llevar a cabo una instalación segura.

Seguridad

- No use un cable alargador con un límite de voltaje bajo, porque de otro modo se podrían ocasionar cortocircuitos y accidentes.
- Tenga cuidado de no pillarse los dedos entre la unidad y el suelo al desplazar el proyector instalado sobre el suelo.
- Tenga cuidado de no pillarse los dedos con el ventilador de refrigeración.
- No desplace el proyector con el mueble encima y con la cubierta abierta.

Instalación

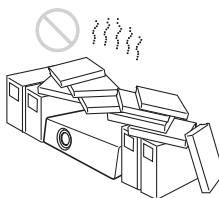
- Si el proyector está instalado en el techo, debe usarse el soporte de suspensión del proyector Sony PSS-610 para la instalación.
- Permita una circulación de aire adecuada para evitar el recalentamiento interno. No coloque la unidad sobre superficies (alfombras, mantas, etc.) ni cerca de materiales (cortinas, tapices, etc.) que puedan bloquear los orificios de ventilación. Deje un espacio de al menos 30 cm (11 7/8 pulgadas) entre el proyector y la pared. Tenga en cuenta que el calor de la habitación tiende a ser mayor en el techo; compruebe que la temperatura cerca del lugar de la instalación no sea excesiva.

- Instale el proyector sobre el suelo o en el techo. Cualquier otro tipo de instalación ocasiona fallos tales como perturbaciones en el color o la reducción de la vida útil de la lámpara.
- No instale la unidad en un lugar próximo a fuentes de calor, tales como radiadores o conductos de aire, o en un lugar expuesto a la luz directa del sol, humedad o polvo excesivos, vibraciones mecánicas o impactos.
- Para evitar que se condense humedad, no instale la unidad en lugares en los que la temperatura pueda aumentar rápidamente.
- Asegúrese de fijar firmemente la cubierta de la unidad al instalarlo en el techo.

Notas sobre la instalación y el uso

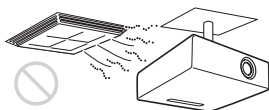
Instalación inadecuada

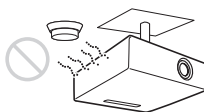
No instale la unidad en las siguientes situaciones. **Estas instalaciones pueden producir fallos de funcionamiento o daños** a la unidad.

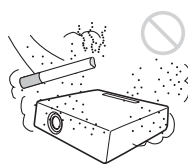
Ventilación escasa

- Permita una circulación de aire adecuada para evitar el recalentamiento interno. No coloque la unidad sobre superficies (alfombras, mantas, etc.) ni cerca de materiales (cortinas, tapices, etc.) que puedan bloquear los orificios de ventilación.
- Si se produce recalentamiento interno debido al bloqueo de los orificios, el sensor de temperatura se activará y aparecerá el mensaje “Temperatura alta! Apag. 1min.” La alimentación se desactivará automáticamente tras un minuto.
- Deje un espacio superior a 30 cm (11 $^{7}/_{8}$ pulgadas) alrededor de la unidad.
- Procure que no se introduzcan elementos extraños de tamaño reducido por los orificios de ventilación, como por ejemplo trozos de papel.

Calor y humedad excesivos

- Evite instalar la unidad en lugares en los que la temperatura o la humedad sean muy elevadas, o en los que la temperatura sea muy baja.
- Para evitar que se condense humedad, no instale la unidad en lugares en los que la temperatura pueda aumentar rápidamente.

Expuesta a un flujo directo de aire frío o caliente procedente de un aparato de climatización

Si la instala en una ubicación de estas características, la unidad puede averiarse debido a la condensación de humedad o al aumento de temperatura.

Cerca de un sensor de calor o de humo

Puede provocar que el sensor se averíe.

Con mucho polvo o humo excesivo

Evite instalar la unidad en un entorno en el que haya un exceso de polvo o humo. Si lo hace, el filtro del aire se obstruirá, y es posible que la unidad se averíe o no funcione correctamente. El polvo, que impide que el aire pase por el filtro, puede provocar que la temperatura interna de la unidad aumente. Limpie el filtro regularmente.

Uso a altitudes elevadas

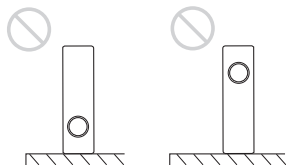
Si utiliza el proyector a altitudes de 1.500 m o más, ajuste la opción “Modo gran altitud” del menú Configuración en “Sí”. Si no se establece este modo cuando se utiliza la unidad a altitudes elevadas pueden producirse efectos adversos, tales como la reducción de la fiabilidad de determinados componentes.

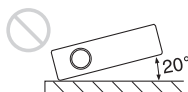
Nota sobre la pantalla

Cuando utilice una pantalla de superficie irregular, en raras ocasiones aparecerán patrones de bandas en la pantalla, dependiendo de la distancia entre la pantalla y la unidad, y de la ampliación del zoom. Esto no significa una avería de la unidad.

Condiciones inadecuadas

No emplee la unidad en las siguientes condiciones.

No tumbe la unidad

Evite utilizar la unidad en posición vertical apoyada en un lateral. Pueden producirse fallos de funcionamiento.

No la incline a derecha o izquierda

Evite utilizar la unidad con una inclinación superior a 20 grados. Instale la unidad únicamente en el suelo o en el techo. Si no lo hace así, puede provocar averías.

No bloquee los orificios de ventilación

Evite emplear algo que cubra los orificios de ventilación (escape/aspiración); en caso contrario, es posible que se produzca un recalentamiento interno.

No coloque ningún objeto que bloquee el objetivo justo delante del objetivo

No coloque ningún objeto justo delante del objetivo que pueda bloquear la luz durante la proyección. El calor de la luz puede dañar el objeto. Utilice la tecla PIC MUTING del mando a distancia para interrumpir la imagen.

WARNUNG

Um die Gefahr von Bränden oder elektrischen Schlägen zu verringern, darf dieses Gerät nicht Regen oder Feuchtigkeit ausgesetzt werden.

Um einen elektrischen Schlag zu vermeiden, darf das Gehäuse nicht geöffnet werden. Überlassen Sie Wartungsarbeiten stets nur qualifiziertem Fachpersonal.

WARNUNG

DIESES GERÄT MUSS GEERDET WERDEN.

WARNUNG

Beim Einbau des Geräts ist daher im Festkabel ein leicht zugänglicher Unterbrecher einzufügen, oder der Netzstecker muss mit einer in der Nähe des Geräts befindlichen, leicht zugänglichen Wandsteckdose verbunden werden. Wenn während des Betriebs eine Funktionsstörung auftritt, ist der Unterbrecher zu betätigen bzw. der Netzstecker abzuziehen, damit die Stromversorgung zum Gerät unterbrochen wird.

ACHTUNG

Aus Sicherheitsgründen nicht mit einem Peripheriegerät-Anschluss verbinden, der zu starke Spannung für diese Buchse haben könnte. Folgen Sie den Anweisungen für diese Buchse.

WICHTIG

Das Namensschild befindet sich auf der Unterseite des Gerätes.

WARNUNG

1. Verwenden Sie ein geprüftes Netzkabel (3-adriges Stromkabel)/einen geprüften Geräteanschluss/einen geprüften Stecker mit Schutzkontakten entsprechend den Sicherheitsvorschriften, die im betreffenden Land gelten.
2. Verwenden Sie ein Netzkabel (3-adriges Stromkabel)/einen Geräteanschluss/einen Stecker mit den geeigneten Anschlusswerten (Volt, Ampere).

Wenn Sie Fragen zur Verwendung von Netzkabel/Geräteanschluss/Stecker haben, wenden Sie sich bitte an qualifiziertes Kundendienstpersonal.

Für Kunden in Europa, Australien und Neuseeland

Warnung

Dies ist eine Einrichtung, welche die Funk-Entstörung nach Klasse A besitzt. Diese Einrichtung kann im Wohnbereich Funkstörungen verursachen; in diesem Fall kann vom Betreiber verlangt werden, angemessene Maßnahmen durchzuführen und dafür anfzukommen.

Für Kunden in Europa

Der Hersteller dieses Produkts ist Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, Japan.
Der autorisierte Repräsentant für EMV und Produktsicherheit ist Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Deutschland. Bei jeglichen Angelegenheiten in Bezug auf Kundendienst oder Garantie wenden Sie sich bitte an die in den separaten Kundendienst- oder Garantiedokumenten aufgeführten Anschriften.

Dieser Apparat darf nicht im Wohnbereich verwendet werden.

Zur Sicherheit

Bringen Sie unbedingt den Luftfilter am Gerät an.

Für Kunden in Deutschland

Entsorgungshinweis: Bitte werfen Sie nur entladene Batterien in die Sammelboxen beim Handel oder den Kommunen. Entladen sind Batterien in der Regel dann, wenn das Gerät abschaltet und signalisiert „Batterie leer“ oder nach längerer Gebrauchsdauer der Batterien „nicht mehr einwandfrei funktioniert“. Um sicherzugehen, kleben Sie die Batteriepole z.B. mit einem Klebestreifen ab oder geben Sie die Batterien einzeln in einen Plastikbeutel.

Achtung

Installation bei einem Projektionswinkel von über ±20°

Wenn Sie einen Projektionswinkel von über ±20° einstellen, platzieren Sie eine Metallplatte von mehr als 60 cm × 30 cm im Abstand von 30 cm bis 50 cm direkt unter der Auslassöffnung. Achten Sie zudem darauf, dass keine Fremdkörper oder Flüssigkeiten in die Auslassöffnung gelangen.

VORSICHT

Explosionsgefahr bei Verwendung falscher Batterien. Batterien nur durch den vom Hersteller empfohlenen oder einen gleichwertigen Typ ersetzen.
Wenn Sie die Batterie entsorgen, müssen Sie die Gesetze der jeweiligen Region und des jeweiligen Landes befolgen.

Vorsichtsmaßnahmen

Warnung

Die in der CD-ROM enthaltene Installationsanleitung ist für Händler bestimmt.
Falls Kunden die in dieser Anleitung beschriebene Installation durchführen, kann ein Unfall mit daraus resultierenden schweren Verletzungen auftreten. Führen Sie die Installation auf keinen Fall selbst durch. Wenden Sie sich bezüglich der Installation an einen Sony-Händler.

Info zur Sicherheit

- Vergewissern Sie sich, dass die Betriebsspannung Ihres Gerätes mit der Spannung Ihrer örtlichen Stromversorgung übereinstimmt. Falls eine Spannungsanpassung erforderlich ist, konsultieren Sie qualifiziertes Sony-Personal.
- Sollten Flüssigkeiten oder Fremdkörper in das Gehäuse gelangen, ziehen Sie das Netzkabel ab, und lassen Sie das Gerät von qualifiziertem Sony-Fachpersonal überprüfen, bevor Sie es wieder benutzen.
- Soll das Gerät einige Tage lang nicht benutzt werden, trennen Sie es von der Netzsteckdose.
- Ziehen Sie zum Trennen des Kabels am Stecker. Niemals am Kabel selbst ziehen.
- Die Netzsteckdose sollte sich in der Nähe des Gerätes befinden und leicht zugänglich sein.
- Das Gerät ist auch im ausgeschalteten Zustand nicht vollständig vom Stromnetz getrennt, solange der Netzstecker noch an der Netzsteckdose angeschlossen ist.
- Blicken Sie bei eingeschalteter Lampe nicht in das Objektiv.

- Halten Sie Ihre Hände oder Gegenstände von den Lüftungsöffnungen fern — die austretende Luft ist heiß.
- Achten Sie beim Einstellen der Höhe des Gerätes darauf, dass Sie sich nicht die Finger an den Einstellfüßen klemmen. Vermeiden Sie festes Drücken auf die Oberseite des Gerätes bei ausgefahrenem Einstellfuß.
- Halten Sie das Gerät beim Tragen mit beiden Händen an beiden Seiten.

Info zur Beleuchtung

- Um eine optimale Bildqualität zu erhalten, darf die Vorderseite der Leinwand keiner direkten Beleuchtung oder dem Sonnenlicht ausgesetzt sein.
- Deckenmontierte Punktstrahler sind zu empfehlen. Decken Sie Leuchtstofflampen ab, um eine Senkung des Kontrastverhältnisses zu vermeiden.
- Verdecken Sie zur Leinwand gewandte Fenster mit undurchsichtigen Vorhängen.
- Es ist wünschenswert, den Projektor in einem Raum zu installieren, dessen Boden und Wände nicht aus lichtreflektierendem Material bestehen. Bestehen Fußboden und Wände aus reflektierendem Material, wird empfohlen, Teppichboden und Tapete durch eine dunklere Art zu ersetzen.

Info zur Verhütung eines internen Wärmestaus

Das Gerät besitzt Lüftungsöffnungen an der Unterseite (Einlass) und an der Rückseite (Auslass). Diese Öffnungen dürfen nicht blockiert oder durch Gegenstände zugestellt werden, weil es sonst zu einem internen Wärmestau kommen kann, der eine Verschlechterung der Bildqualität oder Beschädigung des Gerätes verursachen kann.

Info zur Reinigung

- Damit das Gehäuse immer wie neu aussieht, reinigen Sie es regelmäßig mit einem weichen Tuch. Hartnäckiger Schmutz kann mit einem Tuch entfernt werden, das Sie leicht mit einem milden Reinigungsmittel angefeuchtet haben. Verwenden Sie auf keinen Fall starke Lösungsmittel, wie Verdünner, Benzin oder Scheuermittel, weil diese das Gehäuse beschädigen.
- Vermeiden Sie eine Berührung des Objektivs. Um Staub vom Objektiv zu entfernen, wischen Sie es mit einem weichen, trockenen Tuch ab. Verwenden Sie kein feuchtes Tuch, Reinigungsmittel oder Verdünner.
- Reinigen Sie den Filter in regelmäßigen Abständen.

Info zur Wiederverpackung

- Bewahren Sie den Originalkarton und das Verpackungsmaterial gut auf für den Fall, dass Sie das Gerät später einmal transportieren müssen. Am besten geschützt ist das Gerät beim Transport, wenn Sie es wieder so verpacken, wie es geliefert wurde.

Info zum LCD-Projektor

- Der LCD-Projektor wurde unter Einsatz von Präzisionstechnologie hergestellt. Es kann jedoch sein, dass im Projektionsbild des LCD-Projektors ständig winzige schwarze und/oder helle Punkte (rote, blaue oder grüne) enthalten sind. Dies ist ein normales Ergebnis des Herstellungsprozesses und ist kein Anzeichen für eine Funktionsstörung.

Für Händler

Bitte lesen Sie diese Sicherheitsbestimmungen und die in der CD-ROM enthaltene Installationsanleitung für Händler aufmerksam durch, um eine sichere Installation zu gewährleisten.

Info zur Sicherheit

- Vermeiden Sie die Benutzung eines Verlängerungskabels mit niedriger Spannungsgrenze, weil es Kurzschluss und physische Störungen verursachen kann.
- Klemmen Sie sich nicht die Finger zwischen dem Projektor und der Bodenfläche, wenn Sie den auf den Boden gestellten Projektor bewegen.
- Achten Sie darauf, dass Ihre Finger nicht vom Lüfter erfasst werden.
- Tragen Sie den Projektor nicht mit aufgesetztem Gehäuse und offener Abdeckung.

Info zur Installation

- Soll der Projektor an der Decke montiert werden, muss der Projektor-Deckenhalter PSS-610 von Sony für die Installation verwendet werden.
- Sorgen Sie für ausreichende Luftzirkulation, um einen internen Wärmestau zu vermeiden. Stellen Sie das Gerät nicht auf Flächen (Teppiche, Decken usw.) oder in die Nähe von Materialien (Vorhänge, Gardinen), welche die Lüftungsöffnungen blockieren können. Halten Sie einen Abstand von mindestens 30 cm zwischen der Wand und dem Projektor ein. Bedenken Sie, dass die Zimmerwärme zur Decke steigt, und prüfen Sie, dass die Temperatur in der Nähe der Installationsposition nicht zu hoch ist.
- Installieren Sie den Projektor auf dem Boden oder an der Decke. Jede andere Installationsart verursacht Funktionsstörungen, wie Farbabweichungen oder Verkürzung der Lampenlebensdauer.
- Installieren Sie den Projektor nicht in der Nähe von Wärmequellen, wie z.B. Heizkörpern oder Warmluftauslässen, oder an Orten, die direktem Sonnenlicht, starkem Staubniederschlag oder Feuchtigkeit, Vibrationen oder Erschütterungen ausgesetzt sind.
- Um Feuchtigkeitskondensation zu vermeiden, installieren Sie das Gerät nicht an einem Ort, an dem die Temperatur plötzlich ansteigen kann.
- Sorgen Sie bei Deckenmontage für eine einwandfreie Sicherung der Gehäuseabdeckung.

Hinweise zu Installation und Gebrauch

Ungeeignete Installation

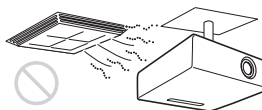
Installieren Sie das Gerät nicht unter den folgenden Bedingungen. **Derartige Installationsbedingungen können Funktionsstörungen oder Beschädigung** des Gerätes zur Folge haben.

Schlecht belüftete Orte

- Sorgen Sie für ausreichende Luftzirkulation, um einen internen Wärmestau zu vermeiden. Stellen Sie das Gerät nicht auf Flächen (Teppiche, Decken usw.) oder in die Nähe von Materialien (Vorhänge, Gardinen), welche die Lüftungsöffnungen blockieren können.
- Wenn es wegen einer Blockierung zu einem internen Wärmestau kommt, wird der Temperatursensor aktiviert und die Meldung „Zu heiß! Birne aus in 1 Min.“ angezeigt. Der Projektor schaltet sich nach einer Minute automatisch aus.
- Halten Sie einen Abstand von mindestens 30 cm um das Gerät ein.
- Achten Sie darauf, dass keine Fremdkörper, wie z.B. Papierschnipsel, durch die Lüftungsöffnungen angesaugt werden.

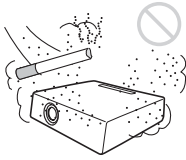
Sehr heiße und feuchte Orte

- Vermeiden Sie die Installation des Gerätes an einem Ort, der eine hohe Luftfeuchtigkeit oder sehr hohe oder niedrige Temperaturen aufweist.
- Um Feuchtigkeitskondensation zu vermeiden, installieren Sie das Gerät nicht an einem Ort, an dem die Temperatur plötzlich ansteigen kann.

Direkte Einwirkung von kalter oder warmer Luft von einer Klimaanlage

Die Installation an einem solchen Ort kann zu einer Funktionsstörung des Gerätes führen, die durch Feuchtigkeitskondensation oder Temperaturanstieg verursacht wird.

In der Nähe eines Wärme- oder Rauchsensors

Eine Funktionsstörung des Sensors kann verursacht werden.

Sehr staubiger oder extrem rauchiger Ort

Vermeiden Sie die Installation des Geräts in sehr staubiger oder extrem rauchiger Umgebung. Anderenfalls setzt sich der Luftfilter zu, was zu einer Funktionsstörung oder Beschädigung des Geräts führen kann. Ein mit Staub zugesetzter Luftfilter kann einen Anstieg der internen Temperatur des Geräts verursachen. Reinigen Sie den Filter regelmäßig.

Benutzung in Höhenlagen

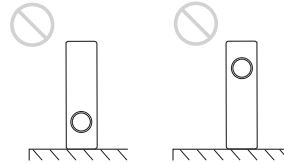
Wenn Sie den Projektor in Höhenlagen über 1.500 m benutzen, setzen Sie „Höhenlagenmodus“ im Menü Einrichtung auf „Ein“. Wird dieser Modus bei Verwendung des Gerätes in Höhenlagen nicht aktiviert, kann dies negative Folgen haben, wie z.B. die Verschlechterung der Zuverlässigkeit bestimmter Komponenten.

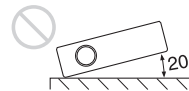
Hinweis zur Leinwand

Wenn Sie eine Leinwand mit rauer Oberfläche verwenden, können je nach dem Abstand zwischen der Leinwand und dem Gerät oder der Zoomvergrößerung manchmal Streifenmuster auf der Leinwand erscheinen. Dies ist keine Funktionsstörung des Gerätes.

Ungeeignete Bedingungen

Benutzen Sie das Gerät nicht unter den folgenden Bedingungen.

Das Gerät nicht umkippen

Vermeiden Sie den Betrieb bei Senkrechtstellung, weil das Gerät sonst umkippen kann. Dies kann zu einer Funktionsstörung führen.

Nicht nach rechts/links neigen

Vermeiden Sie den Betrieb des Gerätes bei einer seitlichen Neigung von mehr als 20 Grad. Verwenden Sie außer Tisch- oder Deckeninstallation keine anderen Installationsarten. Es könnte sonst zu einer Funktionsstörung kommen.

Nicht die Lüftungsöffnungen blockieren

Vermeiden Sie das Abdecken mit Material, das die Lüftungsöffnungen (Auslass/ Einlass) blockiert, weil es sonst zu einem internen Wärmestau kommen kann.

Kein Hindernis direkt vor dem Objektiv aufstellen

Stellen Sie keinen Gegenstand, der das Licht während der Projektion blockiert, direkt vor das Objektiv. Die Wärme des Lichts könnte den Gegenstand beschädigen. Drücken Sie die Taste PIC MUTING an der Fernbedienung, um das Bild abzuschalten.

ATTENZIONE

Per ridurre il rischio di incendi o scosse elettriche, non esporre questo apparato alla pioggia o all'umidità.

Per evitare scosse elettriche, non aprire l'involucro. Per l'assistenza rivolgersi unicamente a personale qualificato.

ATTENZIONE

QUESTO APPARECCHIO DEVE ESSERE COLLEGATO A MASSA.

ATTENZIONE

Durante l'installazione dell'apparecchio, incorporare un dispositivo di scollegamento prontamente accessibile nel cablaggio fisso, oppure collegare la spina di alimentazione ad una presa di corrente facilmente accessibile vicina all'apparecchio. Qualora si verifichi un guasto durante il funzionamento dell'apparecchio, azionare il dispositivo di scollegamento in modo che interrompa il flusso di corrente oppure scollegare la spina di alimentazione.

AVVERTIMENTO

Per ragioni di sicurezza, non collegare il connettore per il cablaggio del dispositivo periferico che potrebbe avere una tensione eccessiva in questa porta. Seguire le istruzioni per questa porta.

IMPORTANTE

La targhetta di identificazione è situata sul fondo.

ATTENZIONE

1 Utilizzare un cavo di alimentazione (a 3 anime)/connettore per l'apparecchio/spina con terminali di messa a terra approvati che siano conformi alle normative sulla sicurezza in vigore in ogni paese, se applicabili.
2 Utilizzare un cavo di alimentazione (a 3 anime)/connettore per l'apparecchio/spina conformi alla rete elettrica (voltaggio, ampere).

In caso di domande relative all'uso del cavo di alimentazione/connettore per l'apparecchio/spina di cui sopra, consultare personale qualificato.

Per gli acquirenti in Europa, Australia e Nuova Zelanda

ATTENZIONE

Questo è un apparecchio di classe A e come tale, in un ambiente domestico, può causare interferenze radio. È necessario quindi che l'utilizzatore adotti gli accorgimenti adeguati.

Per i clienti in Europa

Il fabbricante di questo prodotto è la Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, Giappone.
La rappresentanza autorizzata per EMC e la sicurezza dei prodotti è la Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stoccarda, Germania. Per qualsiasi questione riguardante l'assistenza o la garanzia, si prega di rivolgersi agli indirizzi riportati nei documenti sull'assistenza o sulla garanzia a parte.

L'apparecchio non deve essere utilizzato in aree residenziali.

Sicurezza

Ricordare di montare sull'unità il filtro dell'aria.

Attenzione

Installazione con impostazione dell'angolo di proiezione maggiore di ±20°

Se si imposta un angolo di proiezione maggiore di ±20°, posizionare un ripiano di metallo di dimensioni maggiori di 60 × 30 cm a una distanza compresa tra 30 e 50 cm direttamente sotto il condotto di scarico. Inoltre, prestare attenzione affinché oggetti o gocce d'acqua non penetrino all'interno dell'apertura del condotto di scarico.

ATTENZIONE

Se una batteria non viene sostituita correttamente vi è il rischio di esplosione. Sostituire una batteria con una uguale o

simile seguendo le raccomandazioni del produttore.
Per lo smaltimento della batteria, attenersi alle norme in vigore nel paese di utilizzo.

Precauzioni

Avvertenza

Il manuale d'installazione contenuto nel CD-ROM è destinato ai rivenditori.
Se l'installazione descritta in questo manuale fosse eseguita dai clienti, potrebbe verificarsi un incidente con gravi lesioni alle persone. Non effettuare l'installazione personalmente. Per l'installazione è necessario rivolgersi a un rivenditore Sony.

Sicurezza

- Verificare che la tensione di funzionamento dell'unità corrisponda alla tensione della rete elettrica locale. Se è necessaria una regolazione della tensione, rivolgersi a personale Sony qualificato.
- Se dei liquidi o degli oggetti dovessero cadere nel mobile, scollegare l'unità e, prima di utilizzarla nuovamente, farla controllare da personale Sony qualificato.
- Se l'unità non sarà utilizzata per diversi giorni, scollegarla dalla presa di rete.
- Per scollegare il cavo, tirarlo fuori afferrando la spina. Non tirare mai direttamente il cavo.
- La presa di rete dovrebbe essere vicina all'unità e facilmente accessibile.
- Finché l'unità è collegata alla presa a muro, non è elettricamente isolata dall'alimentazione in c.a., anche se l'unità è stata spenta.
- Non guardare dentro l'obiettivo quando la lampada è accesa.
- Non mettere le mani o degli oggetti in prossimità delle aperture di ventilazione — l'aria che ne fuoriesce è calda.

- Nel regolare l'altezza dell'unità, prestare attenzione a non pizzicare le dita nel dispositivo di regolazione. Non premere con forza la parte superiore dell'unità quando il dispositivo di regolazione è allungato.
- Per trasportare l'unità, afferrare i due lati della medesima con ambedue le mani.

Illuminazione

- Per ottenere l'immagine migliore, la parte anteriore dello schermo non dovrebbe essere esposta a illuminazione diretta o alla luce del sole.
- Si consiglia illuminazione con faretti sul soffitto. Usare degli schermi sopra alle lampade fluorescenti, per non diminuire il rapporto del contrasto.
- Coprire eventuali finestre davanti allo schermo con tendaggi opachi.
- Si consiglia di installare il proiettore in un locale in cui il pavimento e le pareti siano di materiali non riflettenti. Se il pavimento e le pareti fossero di materiali riflettenti, si consiglia di cambiare tappeti e tappezzeria in modo che siano di colore scuro.

Prevenzione del surriscaldamento interno

L'unità è dotata di aperture di ventilazione (aspirazione) sul fondo e di aperture di ventilazione (scarico) nella parte posteriore. Non ostruire né mettere alcun oggetto in prossimità di tali aperture, per evitare surriscaldamento interno che provocherebbe degrado dell'immagine o guasto dell'unità.

Pulizia

- Affinché il mobile mantenga un aspetto nuovo, pulirlo periodicamente con un panno morbido. È possibile rimuovere macchie resistenti usando un panno leggermente imbevuto di una soluzione leggera detergente. Non usare mai solventi aggressivi, quali diluente, benzene o prodotti di pulizia abrasivi che danneggerebbero il mobile.
- Non toccare l'obiettivo. Per spolverare l'obiettivo, usare un panno morbido e asciutto. Non usare un panno umido, soluzione di detersivo o diluente.
- Pulire il filtro a intervalli regolari.

Imballaggio

- Conservare la scatola e il materiale di imballaggio originali, poiché potrebbero servire se fosse necessario spedire l'apparecchio. Per ottenere la massima protezione, imballare l'apparecchio nello stesso modo in cui è stato imballato in stabilimento.

Proiettore LCD

- Il proiettore LCD è prodotto con una tecnologia di alta precisione. Tuttavia potrebbero essere visibili dei puntini neri e/o luminosi (rossi, blu o verdi) che appaiono in modo permanente sul proiettore LCD. Questo è un risultato normale del processo di fabbricazione e non costituisce un guasto.

Per rivenditori

Per un'installazione sicura, leggere attentamente queste Normative di sicurezza e Manuale d'installazione per i rivenditori nel CD-ROM.

Sicurezza

- Non usare un cavo di prolunga a bassa tensione che potrebbe causare corti circuiti e infortuni.
- Nello spostare il proiettore installato sul pavimento, prestare attenzione a non pizzicare le dita fra l'unità e il pavimento stesso.
- Prestare attenzione a non pizzicare le dita nella ventola di raffreddamento.
- Non trasportare il proiettore con il mobile e il coperchio aperto.

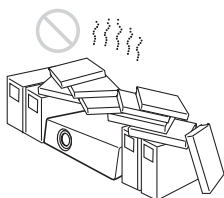
Installazione

- Per installare il proiettore sul soffitto, usare il supporto per appendere il proiettore Sony PSS-610.
- Fare in modo che la circolazione dell'aria sia adeguata ad evitare il surriscaldamento interno. Non mettere l'unità su superfici (tappeti, coperte ecc.) o vicino a materiali (tende, drappeggi) che potrebbero ostruire le prese di ventilazione. Lasciare almeno 30 cm di spazio fra il proiettore e le pareti. Considerare che il calore del locale sale verso il soffitto; verificare che la temperatura in prossimità della posizione di installazione non sia eccessiva.
- Installare il proiettore sul soffitto o pavimento. Qualsiasi altra installazione provoca malfunzionamento, come irregolarità del colore o diminuzione della durata della lampada.
- Non installare l'unità vicino a sorgenti di calore come radiatori o condotti di aria, o in una posizione soggetta a luce solare diretta, polvere o umidità eccessiva, vibrazioni meccaniche o urti.
- Per evitare la condensazione dell'umidità, non installare l'unità in una posizione dove la temperatura potrebbe salire rapidamente.
- Nell'installazione a soffitto, prestare attenzione a fissare saldamente il coperchio del mobile.

Note su installazione e uso

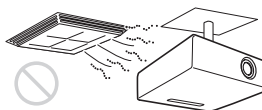
Posizioni di installazione inadatte

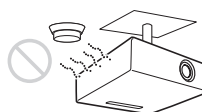
Non installare l'unità nelle condizioni che seguono. **Queste installazioni potrebbero causare malfunzionamenti o guasti** dell'unità.

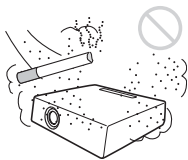
Ventilazione insufficiente

- Fare in modo che la circolazione dell'aria sia adeguata ad evitare il surriscaldamento interno. Non mettere l'unità su superfici (tappeti, coperte ecc.) o vicino a materiali (tende, drappeggi) che potrebbero ostruire le prese di ventilazione.
- Quando si verifica surriscaldamento interno dovuto all'ostruzione, interviene il sensore di temperatura e viene visualizzato il messaggio "Temp. alta! Lamp. off 1 min.". Trascorso un minuto, l'alimentazione si spegnerà automaticamente.
- Lasciare uno spazio di almeno 30 cm intorno all'unità.
- Prestare attenzione che oggetti leggeri come pezzi di carta potrebbero essere aspirati dalle aperture di ventilazione.

Temperatura e umidità elevate

- Non installare l'unità in una posizione dove la temperatura o l'umidità è molto elevata o la temperatura è molto bassa.
- Per evitare la condensazione dell'umidità, non installare l'unità in una posizione dove la temperatura potrebbe salire rapidamente.

Aria fredda o calda da un condizionatore

L'installazione in una posizione di questo genere potrebbe provocare malfunzionamenti dell'unità dovuti a condensazione dell'umidità o all'aumento della temperatura.

Vicino a un sensore di calore o di fumo

Potrebbe causare un malfunzionamento del sensore.

Molta polvere, moltissimo fumo

Non installare l'unità in un ambiente molto polveroso o estremamente fumoso. Ciò potrebbe intasare il filtro dell'aria, causando un malfunzionamento o guasto dell'unità. La polvere che impedisce il passaggio dell'aria attraverso il filtro potrebbe causare un aumento della temperatura interna dell'unità. Pulire periodicamente il filtro.

Uso a quote elevate

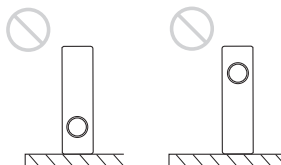
Quando si usa l'unità a una quota di 1.500 m o superiore, impostare "Modo quota el." su "Inser." nel menu Impostazione. Se non viene impostato questo modo quando l'unità è usata a quote elevate, potrebbero presentarsi effetti negativi, come la riduzione dell'affidabilità di alcuni componenti.

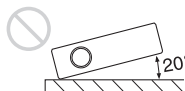
Nota sullo schermo

Se si utilizza uno schermo avente una superficie non uniforme, talvolta potrebbero apparire dei motivi a strisce in funzione della distanza fra lo schermo e l'unità o dell'ingrandimento dello zoom. Non si tratta di un malfunzionamento dell'unità.

Condizioni inadatte

Non utilizzare l'unità nelle condizioni che seguono.

Non ribaltare l'unità

Non usare l'unità ribaltata su un lato. Potrebbe causare un malfunzionamento.

Non inclinare l'unità a destra/ sinistra

Non usare l'unità inclinata più di 20 gradi. Non installare l'unità se non sul pavimento o a soffitto. Tali installazioni potrebbero provocare malfunzionamenti.

Non ostruire le aperture di ventilazione

Per evitare surriscaldamento interno, non coprire le aperture di ventilazione (scarico/ aspirazione).

Non mettere alcun ostacolo davanti all'obiettivo

Non mettere alcun oggetto davanti all'obiettivo affinché non oscuri la luce durante la proiezione. Il calore dovuto alla luce potrebbe danneggiare l'oggetto. Per disattivare l'immagine, usare il tasto PIC MUTING sul telecomando.

警告

为减少火灾或电击危险，请勿让本设备受到雨淋或受潮。

为避免电击，请勿拆卸机壳。维修事宜应仅由合格维修人员进行。

警告

本机必须接地。

警告
在安装此设备时，要在固定布线中配置一个易于使用的断电设备，或者将电源插头与电气插座连接，此电气插座必须靠近该设备并且易于使用。在操作设备时如果发生故障，可以切断断电设备的电源以断开设备电源，或者断开电源插头。

注意
为安全起见，请勿将可能有过高电压的外围设备配线用连接器连接到本端口上。
按照本端口的说明操作。

重要
设备铭牌位于底部。

警告
1 请使用经认可的电源线（3 芯电源线）/ 设备接口 / 插头，其接地接头应符合各国家适用的安全法规。
2 请使用符合特定额定值 （电压、安培）的电源线 （3 芯电源线）/ 设备接口 / 插头。

如果对上述电源线 / 设备接口 / 插口的使用有疑问，请垂询合格维修人员。

为了安全
请务必在本机上安装空气滤网。

注意
当投影角度设置大于± 20°时的安装
当投影角度设置在± 20°以上时，在通风排气孔下方直线距离 30 cm ～ 50 cm 的位置放置一介超过 60 cm × 30 cm 的金属盘。此外，清确保无异物或水滴落入通风排气孔内。

小心
如果更换的电池不正确，就会有爆炸的危险。只更换同一类型或制造商推荐的电池型号。
处理电池时，必须遵守相关地区或国家的法律。

使用前须知

警告

CD-ROM 中所包含的安装说明书供经销商使用。
如果客户执行本手册中所述的安装操作，可能会发生事故，并导致严重的人身伤害。切勿自行安装。关于安装方法，请务必向 Sony 经销商咨询。

安全须知

- 请检查本机的工作电压是否与当地的供电电压一致。如果需要电压适配器，请向 Sony 公司专业技术人员咨询。
- 万一有液体或固体落入机壳内，请拔下本机的电源插头，并请 Sony 公司专业技术人员检查后方可继续使用。
- 数日不使用本机时，请将本机的电源插头从墙上电源插座拔出。
- 拔电源线时，请手持插头将其拔出。切勿拉扯电线本身。
- 墙上电源插座应安装于设备附近使用方便的地方。
- 即使本机的电源已经关闭，只要其插头还连接在墙上电源插座上，本机便未脱离交流电源。
- 投影灯点亮时，请不要直视镜头。
- 请不要将手或物品放在通风孔附近，排出的空气较热。
- 当您调节本机的高度时，小心不要让调节器夹到您的手指。不要在调节器伸出的状态下用力按压投影机的顶部。
- 搬运本机时，请务必用双手抓住本机的两侧。

关于照明

- 为了获得最佳图像，不应该让屏幕的前面暴露在直射照明或阳光下。
- 推荐使用安装在天花板上的聚光灯照明。使用盖子遮盖荧光灯以防止对比度下降。
- 用不透明的帷幕遮盖所有面向屏幕的窗户。
- 建议将本机安装在地板和墙壁未采用反光材料的房间里。如果地板和墙壁采用反光材料，建议将地毯和壁纸换成暗色。

防止内部蓄热须知

本机的底部配备有通风孔 （进气），后面配备有通风孔 （排气）。请勿堵塞通风孔或将任何物品放在通风孔旁边，否则可能发生内部蓄热，造成影像质量下降或损坏本机。

清洁注意事项

- 为了让机壳外观保持新品状态，请定期用软布清洁。用稍蘸中性洗涤剂的布可以除去顽固的污渍。请勿使用如稀释剂、苯或研磨清洁剂一类的烈性溶剂，因为这些溶剂会损伤机壳。
- 请勿触摸镜头。要清除镜头上的灰尘时，请使用干燥的软布。请勿使用湿布、洗涤剂或稀释剂。
- 请定期清洁滤网。

重新包装须知

- 请保存原有的包装箱和包装材料，以便在运输设备时可随时使用。为尽量保护好机体，请用出厂时使用的包装箱重新包装本机。

关于 LCD 投影机

- 本 LCD 投影机采用高精密度技术制造。然而，可能会在 LCD 投影机的图像上持续显示微小的黑点和／或亮点 （红色、蓝色或绿色）。这是制造过程的正常结果，不代表故障。

CS

用于经销商

为了安全安装，请仔细阅读本安全规则和 CD-ROM 中所包含的经销商用安装说明书。

安全须知

- 请勿使用电压容量较低的延长电缆，这可能会引起短路和人身事故。
- 当移动安装在地板上的投影机时，请注意不要让手指夹在本机和地板表面之间。
- 小心不要让手指卡在冷却扇里。
- 请不要在装有机壳且机壳盖打开的状态下搬运投影机。

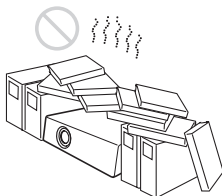
安装注意事项

- 在天花板上安装投影机时，请务必使用 Sony PSS-610 投影机悬挂支架进行安装。
- 应保持通风良好以防止内部蓄热。请不要将本机放在可能堵塞通风孔的物品表面（垫子、毯子等）或附近（窗帘、帷帐）。在投影机与墙壁之间至少应该留出 30 cm 的空间。由于房间的热量会上升至天花板处，请注意查看安装位置附近的温度是否过高。
- 在地板或天花板上安装投影机。任何其他安装方式都会引起诸如色彩不均衡或投影灯寿命缩短等故障。
- 请不要将本机安装在诸如散热器或空气管道一类的热源附近，或安装在受直射阳光照射，灰尘过多或过度潮湿，有机械颤动或震动的地方。
- 为了避免水气凝结，请不要将本机安装在温度可能会急剧上升的场所。
- 在天花板上安装投影机时，请务必牢固地关闭机壳盖。

安装和使用注意事项

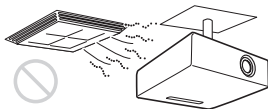
不当安装

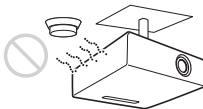
请不要在下述条件下安装本机。**这些安装可能会导致故障或损坏**本机。

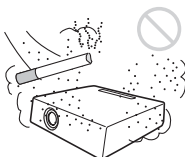
通风不良的地方

- 应保持通风良好以防止内部蓄热。请不要将本机放在可能堵塞通风孔的物品表面（垫子、毯子等）或附近（窗帘、帷帐）。
- 当由于障碍物堵塞通风孔而造成内部热量蓄积时，温度传感器将会工作并显示 “操作温度过高！将在 1 分钟之后关灯．”信息。1 分钟之后投影机电源将会自动关闭。
- 请在本机周围留出 30 cm 以上的空间。
- 小心不要让通风孔吸入微小物体，如纸片。

高热和潮湿环境

- 请避免将本机安装在温度或湿度非常高，或温度非常低的场所。
- 为了避免水气凝结，请不要将本机安装在温度可能会急剧上升的场所。

受空调的冷暖风直接吹拂的地方

在这样的场所安装可能会由于湿气凝结或温度升高而导致本机故障。

温度或烟雾传感器附近

可能会引起传感器的误动作。

多尘、多烟雾的地方

勿将本机安装在多尘或多烟雾的环境中。否则，空气滤网会被堵塞，并可能导致本机故障或损坏。灰尘会阻挡空气透过滤网，从而可能导致投影机内部温度升高。请定期清洁滤网。

在高海拔地区使用

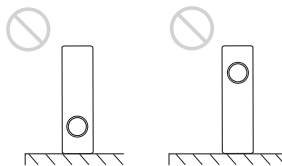
当在海拔 1500 m 以上的高度使用本机时，请将设置菜单中的 “高海拔高度模式” 设为 “开”。当在高海拔地区使用本机时，如果没有设定此模式，可能会产生不良的影响，诸如降低某些组件的可靠性。

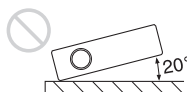
关于屏幕的注意事项

当在不平整的表面使用屏幕时，根据屏幕与本机之间的距离或变焦放大倍数的不同，极少数情况下可能会在屏幕上出现条纹图案。这并非本机的故障。

不合适的条件

请不要在下述条件下使用本机。

请不要倾倒本机

请避免在本机侧面倾倒时使用本机。这可能会引起故障。

请不要向右／左倾斜本机

请避免在本机倾斜 20 度以上时使用本机。请不要将本机安装在地板或天花板以外的地方。这样的安装可能会引起故障。

请不要堵塞通风孔

请避免使用物品遮盖通风孔 （排气／进气）；否则可能会造成内部热量蓄积。

请不要在镜头面前放置遮挡物品

请勿在投影期间在镜头面前放置可能会遮挡光线的物品。来自光线的热量可能会造成物品损坏。按遥控器上的 PIC MUTING 键消除图像。